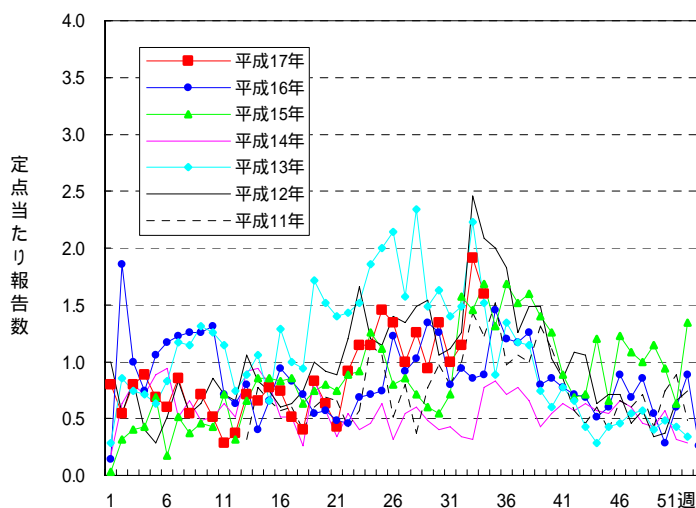


流行状況

流行性角結膜炎



その他の疾病のグラフについては「グラフ総覧」(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>)をご覧ください。

愛知県感染症情報 (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>)

平成 17 年度疾患別ウイルス検出状況速報(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>)

予防接種の話

その他の予防接種ワクチン

今回はこのシリーズで残ったいくつかの予防接種ワクチンについてお話します。

- コレラ：全世界で依然として毎年 10 万人以上の発生報告があり、アフリカでは集団発生もみられます。従来のコレラ予防接種の効果は低く、副作用も比較的強く出る傾向（WHO も予防ワクチンとして推薦していない）がありましたが、最近経口コレラワクチンが EU 諸国など海外では使用されるようになり、予防効果も従来品よりは高いとの報告があります。
- レプトスピラ症：あまり馴染みのない疾患ですが、この属にワイル病、秋やみ病があります。人畜共通感染症で、感染動物の尿からの直接、または汚染水による経皮、ときに経口感染で発症し、突然の発熱、頭痛、黄疸などの症状がでます。ワイル病・秋やみ混合ワクチンが市販されています。
- 肺炎球菌：肺炎球菌性肺炎は臨床では比較的良好にみられる疾患ですが、抗生物質が効果的な現在でも、小児や高齢者、それに心肺機能障害など基礎疾患のある人には依然注意すべき疾患です。肺炎球菌ワクチンは主に 65 歳以上の高齢者、ハイリスク者に接種が勧められ、1 回の接種で効果は 5 年以上持続するといわれています。

他にベスト、ロタウイルス、またすでに絶滅が宣言されながら、バイオテロの関係で注目される天然痘（痘そう）ワクチンもあります。

さて今シリーズの「予防接種の話」で、みなさんは予防接種の種類、方法が国によって大きく違うことを理解していただいたと思います。予防接種は各国が各国の状況に応じて決めるものであり、状況が変われば変更されていきます。我が国でも今年4月からBCGの接種方法が大きく変わり、また平成18年4月からは麻しん・風しんワクチンに関する政省令が変更されます*。

接種方法についても前述したように、外国では多種ワクチン同時接種はよく行われますし、日本で行われているような皮下注射でなく、ほとんどが筋肉内注射です（海外での予防接種で両側上腕筋にダーツのように何本も注射されても驚かないでください）。各国の予防接種事情をよく理解し、受け入れることは国際化の第1歩と考えますがいかがでしょうか。

* 国立感染症研究所感染症情報センター：予防接種法に関する政省令の改正について
(<http://idsc.nih.go.jp/vaccine/2005reg.html>)

予防接種ガイドライン (<http://www.mhlw.go.jp/topics/bcg/guideline/1.html>)

予防接種について (http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/yobou_week.html)

国立感染症研究所感染症情報センター

予防接種情報 (<http://idsc.nih.go.jp/vaccine/vaccine-j.html>)

海外のワクチン情報 (<http://idsc.nih.go.jp/vaccine/eworld.html>)

予防接種スケジュール (<http://idsc.nih.go.jp/vaccine/dschedule.html>)

外務省在外公館医務官情報 (<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/index.html>)

定点の先生方からのコメント

尾張西部地区

ムンプス多いです。

9歳男 高熱つづきアデノチェック(+)
下痢(++)マイコプラズマ肺炎合併あり。

【一宮市 あさのこどもクリニック】

マイコプラズマ感染 8歳女

【一宮市 後藤小児科医院】

病原性大腸菌O1 28歳女

病原性大腸菌O8 3歳女

病原性大腸菌O15 1歳男

マイコプラズマ肺炎 4名

【一宮市 城後小児科】

大人の扁桃炎が目立ってきました。

【犬山市 武内医院】

プール熱少しあります。

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

目立った感染症少なく、落ちついています。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

目立った流行はありません。

【春日町 丹羽医院】

9歳男 便培養にてサルモネラ菌検出

【師勝町 田中クリニック】

尾張東部地区

病原大腸菌O146 8歳男

【瀬戸市 津田こどもクリニック】

ヘルパンギーナ、アデノウイルス感染症
散発

その他、溶連菌、突発疹等、患者数少なく
静かな外来が続いております。

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】

サルモネラ 11歳女

【尾張旭市 旭労災病院】

アデノウイルス感染症続いています。

【春日井市 春日井市民病院】

帯状疱疹の母親から感染したと思われる、
1歳の水痘がありました。

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

サルモネラ O:4 H:e-h(+)10歳男

E.coli O126 vero(-) 7歳女

E.coli O8 vero(-) 81歳男

水痘は守山区の児

【春日井市 竹内医院】

ヘルパンギーナ2例のみ。

無菌性髄膜炎の入院有り。

【小牧市 小牧市民病院】

アデノウイルス感染が目立ちます。

【小牧市 志水こどもクリニック】

4歳男 カボジ水痘様発疹症

【美浜町 愛知県厚生連知多厚生病院】

7歳男 カンピロバクター(+)

2歳女 病原性大腸菌O18 ベロトキシン(-)

【大府市 まえはらこどもクリニック】

西三河地区

6 歳男 カンピロバクター + プレジオモナス・シゲロイデス腸炎

【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】

1 歳女 サルモネラ菌 O4 群

8 か月女 病原大腸菌 O1、O125

【岡崎市 花田こどもクリニック】

5 歳男 病原性大腸菌 O15 VT (-)

【岡崎市 竜美ヶ丘小児科スズキ医院】

5 歳男、8 歳女 アデノ (+)

1 歳男 病原性大腸菌 O1、O78 VT (-)

【岡崎市 にいのみ小児科】

1 歳女 病原大腸菌 O1

7 歳男 サルモネラ O9

3 歳男、2 歳女 マイコプラズマ肺炎

【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

7 歳女 病原大腸菌 O18、サルモネラ O8

5 歳男 病原大腸菌 O1、サルモネラ O4

【刈谷市 まついこどもクリニック】

病原大腸菌 O1 6 歳男

【西尾市 やすい小児科】

6 歳男 カンピロバクター腸炎

【西尾市 山岸クリニック】

12 歳女 サルモネラ O9、病原性大腸菌 O

18 VT (-)

2 歳女 病原性大腸菌 O1 VT (-)

【幸田町 とみた小児科】

東三河地区

流行性耳下腺炎と咽頭結膜熱が多いです。

【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】

3 歳女、3 歳女、3 歳男 アデノ扁桃炎 3 名

6 歳女 マイコプラズマ肺炎

【豊橋市 野村小児科】

百日咳児 2 名あり。1 名は入院、-glb 使用 (生後 1 か月)

【豊川市 豊川市民病院】

カンピロバクター 9 歳男

サルモネラ O9 7 歳女

サルモネラ O9 6 歳女

カンピロバクター 10 歳女

Escherichia coli (O25) 1 歳女

【豊川市 ささき小児科】

E.coli O18 8 か月児

【田原市 かわせ小児科】

一 ~ 三類感染症の発生状況

- 愛知県 (名古屋市を除く。) -

腸管出血性大腸菌感染症

< 関連リンク >

(http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/eaggec.html#2_4)

番号	報告 保健所	年齢	性別	発病 月日	初診 月日	診定 月日	備考
1	半田	1	男	8/18	8/18	8/23	O157 VT1 (+) VT2 (+)
2	半田	25	男	8/17	8/18	8/23	O157 VT1 (-) VT2 (+)
3	春日井	2	男	8/17	8/22	8/27	O157 VT1 (+) VT2 (-)

番号	報告 保健所	年齢	性別	発病 月日	初診 月日	診定 月日	備考
4	知多	42	男	8/19	8/20	8/23	O157 VT1(+) VT2(+)
5	知多	9	女	8/12	8/17	8/25	O157 VT1(-) VT2(+)
6	衣浦東部	4	男	8/15	8/19	8/22	O157 VT1(+) VT2(+)
7	衣浦東部	24	女	8/17	8/17	8/22	O157 VT1(+) VT2(-)
8	衣浦東部	37	女	8/14	8/23	8/25	O157 VT1(+) VT2(-)
9	衣浦東部	23	男		8/23	8/25	O157 VT1(+) VT2(-)
10	衣浦東部	49	男		8/23	8/25	O157 VT1(+) VT2(-)
11	衣浦東部	7	男	8/14	8/24	8/26	O157 VT1(+) VT2(-)
12	衣浦東部	25	男		8/24	8/26	O157 VT1(+) VT2(-)

四類・五類（全数把握）感染症の発生状況 - 愛知県(名古屋市を除く。) -

後天性免疫不全症候群 1 例（無症候、推定感染地域：不明、推定感染経路：不明） 35 週報告分
（<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/hiv.html>）

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

夏休みが終わって今朝からは学生諸君で電車が混むようになりました。昨日まではラジオ体操で賑やかだった早朝の公園も静けさを取り戻しています。いつも貴重な情報を有難うございます。8 月後半のまとめをお送りします。隔週にまとめておりますと各月の前半後半とずれが生じてしまい、本当は 8 月後半は先生方からの情報を待って来週以降にすべきだとは思いますがお許しください。

- 1) 名古屋市内：城北病院渡辺先生からは外来患者数、時間外患者を含め少なく、発熱者はいるがアデノウイルス陽性者あまりいない、ヘルパンギーナは少なく手足口病もほとんどない、学童保育のキャンプで赤痢菌感染者 2 名、1 名は脳炎症状を伴った疫痢症状となったが改善、1 名は便培養で陽性となっただけで以後発症者なく、マイコプラズマ感染者が多い、第二日赤岩佐先生からは突発性発疹による脳症の入院ありとのお手紙でした。
- 2) 尾張地区：江南市昭和病院小児科からはヘルパンギーナと水痘が目立ち、アデノウイルス感染症の入院目立つ、常滑市民病院上田先生からはムンプス、突発性発疹、感染性腸炎、ヘルパンギーナ、溶連菌感染症などが目立ち、感染性腸炎やムンプス髄膜炎、マイコプラズマ肺炎による入院ありとのお手紙でした。
- 3) 三河地区：トヨタ病院木戸先生からはヘルパンギーナは減ってきた、肺炎や咽頭炎の入院はあるが人数は減っている、加茂病院梶田先生からはヘルパンギーナ減少、ムンプスはずっと流行、胃腸炎はやや増加、今年も無菌性髄膜炎はない、碧南市永井先生からはムンプス時々、豊橋市長屋先生からは特に目立った感染症はなし、とのお手紙でした。有難うございました。

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

2005 年 8 月 12 日（80 巻 32 号）<http://www.who.int/wer/2005/wer8032/en/>

豚連鎖球菌感染症。中国：05 年 8 月 3 日中国保健省発表。豚連鎖球菌による人の感染症 206 例（死亡 38、重傷 8）発生。全例四川省。同省では豚の間で同時期に連鎖球菌感染症が流行中（注：豚連鎖球菌は豚に広く分布、犬や猫、鳥類も感染。無症状が多いが時に髄膜炎、肺炎、関節炎をおこし、幼若豚が感染の中心。豚の間では軽症の咽頭炎で伝染し髄液培養や血液培養で診断）。四川省は中国における最大の養豚地区であり、省当局は発生状況の調査と封じ込め作戦を最優先として作戦展開、保健省と農業省が緊密な連携のもとに WHO と FAO（国連食糧農業機構）に最新状況提供。中国の疫学専門家によれば初発例の発病は 6 月下旬、四川省 Ziyang 市、6 月 24 日～7 月 21 日に 20 名が市内 3 病院に不明疾患として入院、7 月 22 日に WHO に届出。20 例中 9 例死亡。以後同省 11 県から届出あり、殆どが成人男性農夫で病気や死亡した豚と密接な接触が感染の原因と推定されている。症状は担当医によれば高熱、全身倦怠、悪心嘔吐に引き続いて髄膜炎症状、皮下出血、ショック、重症例では昏睡。潜伏期は短く進行は急速。現在まで人から人の伝播はおこっていない。

ギニア虫（Dacunculiasis、別名メジナ虫。注：水系寄生虫感染症。水中の卵を中間宿主のミジンコが摂食、汚染飲料水で感染。腸管で孵化した子虫は全身感染、成熟、雌成虫が下肢足関節などの皮膚を破って尾部から産卵。重症の皮膚炎と疼痛、運動障害。熱帯途上国に広く分布。

対策は安全な水供給。水対策で確実に減少)。ギニア虫根絶計画部。ガーナ：ガーナではギニア虫根絶計画がアフリカで3番目の地域として1988年に発足。89年の届出数179,556例であったのが95年には8,894例に減少したがその後は横這いで2004年には7,275例となっている(年別届出数のグラフあり)。この横這い状況を改善するべく重要なステップとして、ガーナ赤十字(赤十字母親クラブ10団体)が村落ボランティア(vv)育成、vv指導者の組織化に取り組んでいる。本報は05年における当局のスーパーバイザーによる現地での訪問調査の結果の概略である。04年の届出数からボルタ川沿いの3地区と北西部1地区が選ばれた(地図あり)。

4地区合計の訪問調査世帯数344。担当vvの名前を知っている住民98%。赤十字担当者が訪問している世帯は73%。訪問で発見された例のうち登録されていた患者は56%であった。調査網の充実と登録などの患者追跡法に関するWHOの勧告(略)。

8月5-11日届出。コレラ：ギニア、ギニアビサウ、マリ、セネガル。黄熱：象牙海岸、ガーナ、カメルーン。

2005年8月19日(80巻33号) <http://www.who.int/wer/2005/wer8033/en/>

鳥インフルエンザ(H5N1)。人用ワクチン開発の第一歩：05年8月6日、米合衆国国立アレルギー感染症研究所(NIAID)の当局者は人間用H5N1ワクチンの開発が進行中で、健康成人を対象とした予備的小規模接種試験では試作ワクチンで免疫獲得があり、今後接種試験の積み重ねが必要であるがH5N1ワクチン開発の可能性を確認できたと発表した(注：具体的な記載なし)。H5N1ワクチンの重要性はH5N1の世界的大流行の可能性があること、ワクチンの緊急大量供給により大流行の悲劇を避けられることなどがあり、問題点としてはウイルス抗原の選択、添加剤、皮下接種か筋注か、接種量、流行が世界規模であれば現在の先進国における年間産生3億接種量では不足で量産態勢の改善なしでは25-50万と推定される死亡数に対処は無理であり、WHOは次回のパンデミー以前にワクチン供給が各国で整備されるよう勧告している。

インフルエンザワクチン。WHOの方針説明(position paper):WHOが定期的に各国に勧告しているインフルエンザワクチンに関する指針。概略：インフルエンザウイルスはA型が大きな流行、B型が地域的発生をおこす。伝染源であり罹患の主体になるのは5-9歳の小児であるが致死経過をとるのは高齢者、心肺障害者、免疫不全者などである。ウイルス学的説明と臨床像：略。現行不活化ワクチンの指針：国、地域により差はあるが重症・致死性のインフルエンザの減少を目的として下記グループに対する接種が勧奨される。a)高齢者、心身障害者で長期間施設入所者、b)施設入所者ではないが高齢者で肺機能、心機能障害、糖尿病や腎不全を含む代謝異常、AIDSを含む免疫不全、移植手術後などの慢性疾患患者。c)上記疾患患者で生後6か月以上のもの。d)上記のリスクはなくてもその国における高齢者、通常65歳以上。e)ハイリスク者と接触があるもの。妊婦。医療従事者。地域生活のキーパーソン。生後6-23か月の小児。WHOの世界インフルエンザ調査網は85カ国、協力検査室114、4世界地域センターで構成されワクチン含有抗原組成決定に必要な情報提供、解析機能を発揮している。

ポリオワクチン。サウジアラビア：サウジアラビア保健省はポリオ発生国からの15歳以下の小児の入国に際してポリオ生ワクチン接種を義務づけると発表した。アフリカ、中近東、東南アジアにおける野生株拡大状況からWHOは流行地への出入国に際してワクチン接種を勧めている。

8月12-18日届出。コレラ：ブルンジ、ギニア、コンゴ共和国、ギニアビサウ、ニジェール、セネガル、イラン。

愛知県感染症情報

2005年第1週～第34週(平成17年1月3日～平成17年8月28日)(累計)

愛知県衛生研究所

	定点数					RSウイルス感染症	鳥インフルエンザ(高病原性)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																					
愛知県 (名古屋市を含む)	195	182	35	51	13	122	80,236	2,387	6,436	28,547	10,018	2,077	790	3,971	41	28	12,121	19	7,223	22	1,032	8	5	164	0	1
総数 (名古屋市は除く)	125	112	24	37	12	104	63,771	1,819	4,445	20,442	8,037	1,726	620	3,049	32	15	9,525	13	5,689	15	819	8	5	164	0	1
名古屋市	70	70	11	14	1	18	16,465	568	1,991	8,105	1,981	351	170	922	9	13	2,596	6	1,534	7	213					
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1	14	4,171	469	536	1,050	383	47	32	172	1	2	658	3	238				50		
海部	津島	7	7	2	2	1		3,211	24	124	1,490	316	68	72	108		1	540		555			1	1	9	
尾張中部	師勝	4	4	1	1			2,064	2	133	649	222	18	22	63		1	378		112	1	46				
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1	3	4,491	141	313	1,674	431	246	27	264	2	1	620		501	1	72	1			
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1	18	7,535	311	361	1,276	563	117	30	319	8	6	868	1	259						1
	江南	6	6	1	2		3	2,731	157	496	1,548	631	105	38	313			765	2	482						
知多半島	半田	6	6	1	2	1	6	2,950	131	171	911	365	170	29	133	1		122	1	244	3	37			1	
	知多	7	7	2	2		7	3,766	128	418	1,057	396	52	28	221		1	454	1	367	1	23				
西三河南部	岡崎市	11	7	2	2	1	5	6,131	50	316	511	633	121	46	398	4		955		604	3	56				
	衣浦東部	13	13	2	4	1	6	9,033	65	389	1,662	1,052	123	132	291	2	1	1,010	3	580				12		
	西尾	5	5	1	2	1	12	1,893	20	189	683	433	151	33	129			491		161						
西三河北部	豊田市	9	9	2	4	1	8	4,651	38	403	4,636	758	81	51	264	9	1	1,133		489		99	3	3	66	
東三河南部	豊橋市	12	8	2	4	1	2	6,866	212	378	1,862	522	138	45	225	1		692		194	2	102	3		23	
	豊川	9	8	1	2	1	20	3,616	67	207	1,402	1,281	282	34	145	4	1	815	2	894	4	49		1	3	
東三河北部	新城	2	2			1		662	4	11	31	51	7	1	4			24		9						

愛知県感染症情報

2005年第1週～第34週(平成17年1月3日～平成17年8月28日)(累計)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	RSウイルス感染症	インフルエンザを 除く。(高病原性鳥 インフルエンザ)	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
計	104	63,771	1,819	4,445	20,442	8,037	1,726	620	3,049	32	15	9,525	13	5,689	15	819	8	5	164	0	1
～6ヶ月	50	319	14	9	303	203	19	2	204	11	1	103		5		6					
～12ヶ月	22	959	82	26	1,305	470	113	31	1,674	3		688	2	24		5					
0歳																	4		4		
1歳	15	3,279	300	137	3,001	1,365	421	33	1,079	3	2	2,096	3	261		28		1	22		
2歳	10	3,675	238	242	2,117	1,325	306	31	79	2	3	1,657	1	510	1	27			26		
3歳		4,334	359	506	1,876	1,673	327	64	12	2	1	1,675	1	940	1	41	1		23		
4歳	2	5,537	319	807	1,675	1,388	223	94		1	1	1,282	1	1,197		25			14		
5歳	2	5,473	202	911	1,455	807	155	100		1	3	923	3	1,005	1	23					
6歳	2	5,343	122	610	1,061	348	58	78		2		481	1	683	1	16					
7歳	1	4,021	56	389	780	181	31	57			2	252		362		11					
8歳		3,659	30	235	650	87	23	47		1		138		228	1	14					
9歳		3,188	27	169	523	49	13	37				85	1	143		8					
5歳～9歳																			42		
10歳～14歳		5,827	39	222	1,262	90	11	37	1	1	1	99		208		20			12		
15歳～19歳		993	2	22	458	11		1				8		20	1	15			1		
20歳～			29	160	3,976	40	26	8		5	1	38		103			3				
20歳～29歳		4,271													2	121		1	3		
30歳～39歳		6,135													2	233		1	5		1
40歳～49歳		2,631													2	76		1	2		
50歳～59歳		1,857													3	63		1	2		
60歳～69歳		1,149														50			4		
70歳～																37					
70歳～79歳		684																	3		
80歳以上		437																	1		